

47 チュウジシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク:B

Gallinago megala

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:指定なし

種の概要

日本では旅鳥。兵庫県では主に3-5月と9-10月に見られる。池沼や水田、湿地、草地、河川に生息する。ミズ類や甲殻類、軟体動物、昆虫類を採食する。



写真提供:松重和太

国内分布

北海道、本州、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、(姫路市)、伊丹市、(豊岡市)、加古川市、(赤穂市)、(三木市)、(篠山市)、南あわじ市、(加東市)、稲美町



主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

かつては県中・南部で20羽前後の群れが普通に見られ、1967年4月に加古川市尾上ではオオジシギ5羽が混じる41羽が記録されている。近年は数羽から10羽程の小群となり、記録される地域も限られている。

保護上の留意点

湿田や水を張った休耕田などの保全に加え、河口や河川敷、池沼などでの沼沢地的環境の再生が必要。渡りのコースとの関係もあるため、現在渡来が確認されている場所の保全は特に重要。